

未来へつなぐ 事業承継 支援事例

20年の歴史を未来へつなぐ、 三世代で描く事業承継



親族 承継

2025年5月



突然の
代表者変更

2026年3月



商工会議所に
相談

2026年4月



事業承継計画書の
作成着手

現在



承継に向けた
取組を進める

ペットサロンピュアドール油山店

住 所：福岡市城南区東油山4-1-1
設 立：2004年
従業員：1名



(Instagram)



(LINE)

突然の経営者交代をきっかけに、家族で未来を考える

ペットサロンピュアドール油山店は、20年前に母・由美さんが城南区東油山で開業したペットショップです。長女・真理子さんは、大学生の頃から家業を手伝い始め、大学卒業後は別のペットショップで約2年間勤務しました。その後、結婚・出産を機に退職し、家業に携わってきましたが、2025年5月に由美さんが急逝。しかし、三姉妹の子育て中だった真理子さんが直ちに経営全般を引き継ぐことは難しかったため、父である誠二さんが代表に就任し、真理子さんが実務を担う体制で事業を継続することとなりました。

しかし、真理子さんが今後の経営体制や事業の方向性について悩んでいたことから、当所に相談にいられました。その際、福岡県事業承継・引継ぎ支援センターを紹介し、同センターと一緒にご支援することになりました。

センターでの初回面談では、真理子さんに対して経営状況や財務状況のヒアリングを実施。その中で、今後の事業計画策定も兼ねた「事業の棚卸し」を提案し、事業承継計画書を作成することになりました。こうして、家族で事業の方向性について話し合いながら、将来を見据えた本格的な事業承継の取組みがスタートしました。

事業の棚卸しで描いた未来へのロードマップ

早速、当所の専門家派遣事業を活用し、専門家（中小企業診断士）のサポートのもと、令和8年4月から「事業承継計画書」の作成に着手。誠二さん、真理子さん、専門家、センター職員に加え、2回目からは真理子さんの長女（大学生）と当所職員も同席し、自社の強みや課題の棚卸しを実施しました。

面談を重ねる中で、20年にわたり地域で培われた顧客との信頼関係や、ヨークシャーテリアの繁殖・飼育・販売・トリミングに関する高い専門性、生体販売からペットホテル、一時預かりまで一貫して対応できることなど、同店ならではの強みが改めて明確になりました。一方で、それらの強みを十分に発信できていないことや、業務効率化の必要性などの課題も見えてきました。

そうした課題に対し、センター職員や専門家が助言を行いながら計画策定を進めた結果、長女を情報発信の担い手と位置付け、ホームページやSNSの活用、IT導入による業務効率化などの取組方針を整理しました。また、真理子さんが経営者としての経験を積みながら承継後も安定した経営を行えるよう、2030年末を事業承継の目標時期に設定し、具体的なロードマップを作成しました。

2030年末の承継に向け、一步步準備を進める

事業承継計画書の作成を通じて、事業の強みや課題、将来の方向性を家族と共有できた真理子さん。かつて大学生だった真理子さんが母・由美さんを支えたように、今度は大学生になった長女が情報発信などの面で事業に関わり、三世代で店の未来を考える体制が動き始めています。

事業承継は、計画書を作成して終わりではなく、その内容を着実に実行していくことが重要です。今後は、ホームページやSNSを活用した情報発信の強化やサービスの充実、業務効率化などに取り組みながら、2030年末の事業承継に向けた準備を進めていきます。当所と福岡県事業承継・引継ぎ支援センターも、経営革新計画の策定や補助金の活用などを通じて伴走支援を行い、円滑な事業承継と事業のさらなる発展を後押ししていきます。

譲渡側



ペットサロン
ピュアドール油山店
本町 誠二さん
現経営者

事業承継計画の作成を通じて、お店の将来について家族で改めて話し合う良い機会となりました。2030年末の承継に向け、これまで支えてくださったお客様への感謝を大切にしながら、娘とともに地域に愛される店を未来へつないでいきたいです。

譲受側



ペットサロン
ピュアドール油山店
田中 真理子さん
後継者（長女）

母とともに守ってきたお店を受け継ぐ責任を感じています。事業承継計画の作成を通じて、今後の経営の方向性が明確になりました。20年の信頼を大切にしながら、トリミングに加え、一時預かりやペットホテルなどのサービスも充実させ、安心して利用いただけるお店を目指します。

支援者



福岡商工会議所
経営指導員
松元 裕一郎

事業承継計画書の策定を通じて、ご家族で将来の方向性を共有いただくことができました。当所では、今後も経営革新計画の策定や補助金活用などの支援を通じて、事業承継後を見据えた事業づくりをサポートしながら、引き続き伴走してまいります。

支援者



福岡県事業承継
引継ぎ支援センター
エリアコーディネーター
阿部 哲也

事業承継計画書の作成以上に大切なのは、家族で将来について話し合う機会を持つことです。親族承継では、その一歩を踏み出すことが難しい場合も少なくありません。センターでは面談を通じて対話を促し、承継への道筋づくりをお手伝いしています。

お問い合わせ

福岡県事業承継・引継ぎ支援センター
福岡市博多区博多駅前2-9-28・8階
TEL：092-441-6922

